

「世界の北海道」を目指して
—北海道総合開発計画—

ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間

北海道白老町に2020 OPEN!

令和元年9月13日
帯広開発建設部

とちかち地域における情報通信技術を活用した未来に向けて ～技術者交流フォーラム事業（第36回）in帯広の開催～

この度、帯広開発建設部、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所等は「とちかち地域における情報通信技術を活用した未来に向けて～生産空間におけるICT技術を活用した取組～」と題して、技術者交流フォーラム事業（第36回）in帯広を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

北海道総合開発計画（平成28年3月閣議決定）では、北海道の強みである「食」と「観光」を戦略的産業としており、その食と観光を担う場を「生産空間」と位置づけています。

十勝の「生産空間」においては、農業の持続的発展や地域交通の利便性向上が喫緊に取り組む課題とされていることから、こうした課題に対して地域におけるICT（情報通信技術）を活用した取組を関係者で共有し、将来について語り合います。

記

- 日時 令和元年10月1日（火） 13時30分～17時00分
- 会場 とちかち館2階 鳳凰の間（帯広市西7条南6丁目2番地）
- 主催 国土交通省北海道開発局帯広開発建設部
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所
公益社団法人日本技術士会北海道本部
- 主なプログラム
基調講演 「とちかち地域における情報通信技術を活用した未来に向けて
～ここまで来ている大規模畑作で期待されるロボットトラクタとスマート農業～」
帯広畜産大学畜産学部環境農学研究部門 教授 佐藤 禎稔 氏
講演 「ICTを活用した町づくり」
上士幌町長 竹中 貢 氏
「十勝管内における交通事業のICT活用について」
十勝バス株式会社 取締役執行役員 事業本部長 長沢 敏彦 氏
「ICT活用による視程障害時の除雪車運行支援技術」
寒地土木研究所 寒地機械技術チーム 上席研究員 片野 浩司 氏
- 入場料 無料
- 定員 200名

※本フォーラムは、公益社団法人土木学会継続教育（CPD）プログラムとして認定されています。
※詳細は別添のリーフレット、または寒地土木研究所ホームページをご覧ください。

(<http://www.ceri.go.jp/>)

※取材を希望される方は、寒地土木研究所企画室 西田参事(011-841-1636)までご連絡願います。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 帯広開発建設部 地域振興対策室

地域振興対策官 元嶋 徹 電話：0155-24-3195

上席地域振興専門官 杉尾 幸宣 電話：0155-24-3195

帯広開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ob/>



2019.10.1 **火** 13:30~
とちち館 2階「鳳凰の間」
帯広市西7条南6丁目2番地 Tel. 0155-24-1040

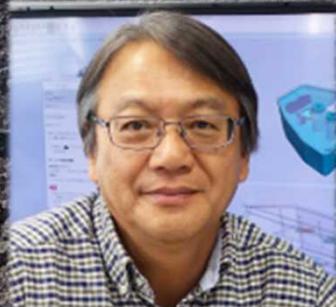
入場無料
(要事前申込み)

とちち地域における情報通信技術 を活用した未来に向けて

～生産空間におけるICT技術を活用した取組～

基調講演

『とちち地域における情報通信技術を活用した未来に向けて
～ここまで来ている大規模畑作で期待されるロボットトラクタとスマート農業～』



帯広畜産大学 畜産学部
環境農学研究部門 教授
佐藤 禎 稔 氏

プロフィール

帯広畜産大学農業工学科卒業
農機メーカーを経て同大学助手、2012年から現職
専門は大規模農業機械学、農業ICT
日本農業工学会フェロー、十勝農業機械化懇話会会長
農業食料工学会、日本ロボット学会などに所属
ヤンマーアグリジャパン(株)と共同でロボットトラクタ
に対応したリバーシブルプラウ自動反転装置を開発し、
農林水産技術会議の「2018年農業技術10大ニュース」
のひとつに選ばれた。

講演

『ICTを活用した町づくり』 上士幌町長 竹中 貢 氏

『十勝管内における交通事業のICT活用について』
十勝バス株式会社 取締役執行役員 事業本部長 長沢 敏彦 氏

『ICT活用による視程障害時の除雪車運行支援技術』
寒地土木研究所 寒地機械技術チーム 上席研究員 片野 浩司



JSCE19-1093
3.0単位

＝主催＝

国土交通省北海道開発局帯広開発建設部、国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、公益社団法人日本技術士会北海道本部

＝後援＝

上士幌町、国立大学法人帯広畜産大学、十勝バス株式会社、一般社団法人帯広建設業協会、十勝測量設計協会

参加申込書

技術者交流フォーラム事業(第36回) in帯広

とち地域における情報通信技術を活用した未来に向けて ～生産空間におけるICT活用の取組～

食と観光を担う「とち地域」では、労働力不足などの課題に対して農業の持続的発展や地域交通の利便性向上が喫緊に取り組む課題となっています。

本催しでは、こうした課題に対して「とち地域」でのICT(情報通信技術)を活用した取り組みを関係者で共有し、将来について語り合います。

お申し込み方法

必須事項をご記入のうえ、下記のE-mailアドレスまたはFAX番号までお送りください。

締め切り

令和元年**9月27日**(金曜日)

お申し込み先

E-mail : doutou-forum@ceri.go.jp FAX : 0154 - 25 - 6787

※定員200名になり次第、申込みを締め切らせていただく場合がありますので御了承ください。

企業・団体・機関当の名称		連絡先		担当者様の氏名		電話番号		
参加者	所	属	役	職	ふりがな	氏名	受講証明*	交流会*
							希望	(参加費4,000円)
							<input type="checkbox"/>	ご出席
							<input type="checkbox"/>	ご出席
							<input type="checkbox"/>	ご出席
							<input type="checkbox"/>	ご出席
							<input type="checkbox"/>	ご出席

※1 本催しは、(公社)土木学会継続教育(CPD)プログラムとして認定されています。

受講証明を希望される方は受講証明書希望の欄に☑を記載願います。なお、受講証明書発行の際は、本人確認を行いますので顔写真入り身分証明証(運転免許証、監理技術者証など)を持参願います。

※2 本催し終了後、17:30~19:00とち館「金枝の間」において交流会を開催致します。参加を希望される方は事前にお申し込みをお願いいたします。なお、申込み後、都合によりキャンセルされる場合は開催日前日12:00迄に下記までお知らせくださいますようお願いいたします。参加費お一人様4,000円は、当日会場受付にて申し受けます。

【個人情報の取り扱いについて】

お申し込みの際にご記入いただいた個人情報は、本催しの講演会及び交流会を円滑に行うためのものであり、それ以外の目的での使用、または第三者への提供はいたしません。

お問い合わせ

国立研究開発法人土木研究所

寒地土木研究所 道東支所(前川、大山) Tel. 0154 - 25 - 6777